

Weekly コラム

平成 27 年 6 月 23 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

スティーブ・ジョブズ

アップル社の元CEOで、携帯電話の iPhone やタブレットの iPad を開発し、世界中の人々に、持ち運びできるパーソナルコンピューターを行き渡らせた人物が、スティーブ・ジョブズだということは、皆様よくご存知だと思います。

2009年にはアメリカの経済紙「フォーチュン」から、「過去10年でもっとも優れた最高経営責任者」に選出された一方、その独特の人物像は賛否両論です。たとえば「人のアイデアを鼻であしらって、その一週間後にはそれを、自分の素晴らしいアイデアだと言って触れ回る。」「イヤな奴についての本を書いていると、多くの人が自ら進んでやってきてスティーブ・ジョブズの話聞かせてくれるようになった。」そして一方、「民主主義に沿ってたんじゃ、素晴らしい商品なんて作れっこない。彼のような闘争本能の固まりのような独裁者が必要なんだ。」という彼の手腕を評価する賛辞の言葉も、関係者から多く集まります。

彼は若いころから禅に傾倒した仏教徒であり、スピーチなどではしばしば禅の考えを引用しています。禅宗の僧侶、乙川弘文氏を精神的指導者と慕っております。禅だけでなく日本の文化に深い関心を持ち、晩年までしばしば家族旅行で京都を訪れていました。食生活は絶対菜食主義をつらぬいており、日本食とりわけ蕎麦や寿司を好み、アップル本社では日本で蕎麦打ち修行をしたシェフが腕をふるっていたとのことです。2003年に病気が発覚した時には周囲の反対を押し切って手術を拒否し、菜食、ハリ治療、ハーブ療法、光療法などの民間療法を用いて完

治を図ろうとします。しかしこの事から治療が手遅れになってしまったことに、そののちにジョブズは大いに後悔したそうです。

今では普通の人でもデジタル機器に囲まれた生活を送っていて、スマートフォンなしの生活なんて考えられないという人も多いと思います。しかしジョブズの家族、特に子供たちにはテクノロジー機器の使用を厳しく制限していたそうです！ご存知のように、iPhone や iPad は子供たちにとって非常に魅力的なおもちゃです。しかしその副作用としての、パソコン中毒や、他人とのコミュニケーション能力の低下という側面はあまり伝えられていないと思います。ジョブズの食卓にはハイテク機器は一切なく、子供たちと本や歴史についてさまざまなトピックを話し合うといった風景だったそうです。今後ぜひ、お子様たちの将来のためにも、スクリーンの使用を制限して、家庭の中でのコミュニケーションの時間を増やしてみる試みをしてみてはいかがでしょうか。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、yasukouchi@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。